



北勢名物亀山大市

亀山市

～ 伝統の冬の風物詩 ～

「亀山大市」は、旧正月用品の謝恩売出しから始まったとされ、100年余りの歴史がある市内最大の冬の名物行事です。

旧東海道の通りである商店街が歩行者天国になり、約1kmにわたり多くの露店が軒を並べるほか、多彩なイベントの開催や各店舗が売り出しを行います。

ぜひお越しください。

と き 1月25日(土)、26日(日)

午前10時～午後4時

ところ 東町・本町商店街、西町通り一帯

アクセス JR亀山駅下車北へ徒歩約10分

問合せ 亀山大市実行委員会事務局

☎0595-82-1331



▲毎年たくさんの人でにぎわいます。

大山田温泉さるびの

伊賀市

～お肌つるつるすべすべ！さるびのお湯自慢！～



▲ささゆり露天



▲けさん露天

さるびの温泉の自慢は泉質！お肌に優しくアトピー性皮膚炎や切傷、神経痛などに効きます。無色透明のお湯につかるとお肌がつるつるすべすべ良い気持ち♪ワニ・ゾウの足跡化石を模した露天風呂や木製酒樽風呂のほか、約35℃と約41℃の2種類の源泉風呂もあります。

1月19日(日)午前11時から毎月恒例の無料大鍋イベントを開催します(なくなり次第終了)。

今月は伊賀産酒かすを使った酒かす汁です。

寒い日はさるびの温泉でほっこりしてみませんか。

【アクセス】名阪国道「中在家IC」から車で約20分
名阪国道「中瀬IC」から車で約30分

【問い合わせ】大山田温泉福祉公社

☎0120-46-0268・0595-48-0268

市史の小徑

藩主・藩士のお正月

江戸時代、藩主や藩士はどのようにお正月を迎えたのでしょうか。藩主は一年ごとにその居所が江戸・国元と変わりました。水口藩の日記によると、江戸詰の場合、元旦の早朝祝いの膳をいただいた後、六ツ時(午前六時頃)に烏帽子に大紋という大名の正装で江戸城に登城。型どおりの献上を行い、將軍とその跡継ぎ、そして幕閣に年頭の挨拶をしています。江戸城下は多くの大名とその供揃えの行列で大混雑したようです。藩士の体調が悪いなど登城できない場合は名代を立てます。

二日は江戸城に登城ののち、上野の東照宮や寛永寺など將軍家ゆかりの寺社に参詣、三日には芝の増上寺や檀那寺に参り、愛宕下藪小路(現港区虎の門付近)の上屋敷に帰ってから謡の初稽古をします。五日には藩士が正装して年頭の挨拶に上がります。これがいわば仕事始めのようです。

一方国元では藩主にかわって商家老が藩士の年頭挨拶を受け、城下の寺社や城内に祀られた神社に代参を立て領内の平穏と藩主家の

20歳がスタート！ 国民年金

20歳の皆さん、ご成人おめでとうございます。国民年金は、すべての公的年金の基礎となるもので、日本国内に住所のある20歳から60歳までのすべての方は、国民年金に加入することが法律で義務付けられています。

20歳を迎えられるこの機会にしっかりと人生計画を立て、自分自身の将来のため、国民年金に加入し、保険料を納めてください。保険料納付が困難な場合は、保険料の免除・猶予制度に該当する場合がありますので、ご相談ください。

※20歳の誕生月の前月に「国民年金被保険者資格取得届」が送付されます。必要事項を記入の上、保険年金課または旧支所の地域市民センターまでご提出ください。

国民年金課
077-567-2200
065-0688



武運長久が祈られます。一方領内の主だった寺社や大庄屋たちが入れ替わり年頭礼に藩庁を訪れ、所管の役人に挨拶をするのでこれに対応。さらに正月の半ばまでには藩士の昇進や異動の通達があり一騒動。武士の正月は儀式ごとで意外に多忙だったのです。暮れに年賀状を出し、三が日は寝正月というのは、現代人の特権かもしれません。

【第3巻近世編】
ご予約受付中1月24日(金)まで

【甲賀市史販売場所】

- （水口町）ブックショップヤマカワ・山田書店・T.S.U.T.A.Y.さんぽうどーい・水口歴史民俗資料館
- （土山町）ウエノ・道の駅あいの土山・新名神土山サービスエリア案内所・土山歴史民俗資料館
- （甲賀町）かふか生涯学習館
- （甲南町）ウイング甲南店・市史編さん室
- （信楽町）大宝堂谷川書店・信楽伝統産業会館・信楽中央公民館

※営業・開館時間にご注意ください
※市ホームページから「甲賀市史」のバナーをクリックしてください。

歴史文化財課 市史編さん室

086-8075 / 086-8216